

フランス自転車市況－２００６

1. 概況

FIEV/CNPC（フランス自転車製造・流通業者評議会）によると、2006年完成車の国内販売は3,528千台と前年比12%の減少となった。国内生産数は対前年比13%減となり、過去5年間で最少となった。輸入台数は前年比で11%も減少したとはいえ、依然として国内生産数の2倍にも達する数量である。再輸出した輸入品を除いた実質的な輸出台数は228千台、前年比49%減とほぼ半減しており、2006年フランス市場は台数的には全般的に低調であった。

しかし、平均販売価格は、表2のとおり2006年は235ユーロとなり、わずか4ユーロだけであるが上昇した。廉価車の急激な輸入増により平均価格を大幅に下げた前年を底に、今後は上昇していけるかどうか注目される。なお、この平均販売価格には主にイタリアから輸入されている平均価格50ユーロ未満の玩具自転車（トイ・サイクル）も含まれている。

表1： 国内市場の輸入・国産の割合 （単位：千台）

年	2002	2003	2004	2005	2006
国内生産	1,228	1,242	1,182	1,210	1,058
輸入	1,134	1,505	1,852	2,464	2,193
合計	2,362	2,747	3,034	3,674	3,251

※サドルの地上最低高435ミリ以上の完成車が対象。

玩具自転車（トイ・サイクル）は含まず。

表2： 平均販売価格（推移）

年	2002	2003	2004	2005	2006
平均価格	€ 245	€ 243	€ 242	€ 231	€ 235

2. 車種別販売動向

車種別の販売台数では、全体として販売台数を減らした中で、「子供車」と「トレッキング車」は販売台数を増やした。平均販売価格を見ると、MTBは前年比8%増、ロードレーサーにいたっては同比10%増と平均販売価格を上昇させたが、その他の車種は平均販売価格を下げた。因みに、トレッキング車はわずか700台であるが販売台数を増やし、平均価格もロードレーサー、MTBなどのスポーツ車以外の車種が下げる中で、258ユーロと前年並みにとどまり、価格自体もスポーツ車に次いで高額であり、フランス市場でも徐々に人気が高まりつつある。

表3： 2006年車種別販売台数、平均価格

車種	販売台数(台)	平均価格
MTB	1,102,000	€ 268
MTB(20~24インチ)	711,000	€ 121
子供車	725,100	€ 71
トレッキング車	499,500	€ 258
ロードレーサー	184,800	€ 1,113
シティ車	171,600	€ 208
BMX及びクロス車	133,600	€ 185
合計	3,527,600	

※表3の合計販売台数376万台には、玩具自転車（トイ・サイクル）及びサドル地上最低高が435ミリ以下の物も含まれる。

3. 業態別シェア

表4・5の販売業態別シェアでは、全てのスポーツ用品を販売する「大型販売店・大型スポーツ店（Decathlon、Go Sport、Intersport等）」については、販売金額シェアはわずかに増加したが、販売台数シェアは過半数近くを占めているものの昨年同様であった。スーパーマーケット（Carrefour、Intermarche、Leclerc等）は販売台数・金額シェアともに前年より下げた一方、自転車小売専門店は販売台数・金額ともにシェアを増やしており、復調傾向にあるといえる。

表4： 販売業態別シェア(販売台数ベース)

販売形態	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
大型販売店、大型スポーツ店	35.5%	36.0%	43.0%	48.0%	48.0%
自転車小売専門店	26.5%	25.0%	24.0%	23.0%	24.0%
スーパーマーケット、他	38.0%	39.0%	33.0%	29.0%	28.0%

表5： 販売業態別シェア(販売金額ベース)

販売形態	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
大型販売店、大型スポーツ店	32.0%	33.0%	35.0%	35.0%	36.0%
自転車小売専門店	51.0%	50.5%	51.0%	52.0%	53.0%
スーパーマーケット、他	17.0%	16.5%	14.0%	13.0%	11.0%

表6: 2006年業態別売上台数・金額

販売形態	完成車 (台)	完成車(千ユーロ)	部品・付属品(千ユーロ)	完成車平均価格
大型販売店、大型スポーツ店	1,701,100	294,300	210,100	€ 173
自転車小売専門店	822,600	442,300	241,600	€ 538
[独立系店舗]	[412,200]	[208,500]	[99,800]	[506]
[フランチャイズ・チェーン系店舗]	[410,400]	[233,800]	[141,800]	[570]
スーパーマーケット、他	1,004,000	91,500	73,500	€ 91
合 計	3,527,700	828,100	525,200	€ 235

更に自転車小売専門店は「独立系」店舗と「フランチャイズ・チェーン(FC)系(Bouticycle、Velovert、Velo&oxgen等)」店舗に分けられるが、平均価格では独立系店舗が506ユーロ、FC系店舗が570ユーロと前年比2～4%上げたのに対し、大型スポーツ店は前年並みに留まり、スーパーマーケット等は91ユーロ、前年比9%減と100ユーロの大台を切った。全体として販売台数、販売金額共に前年を下回る結果となった中で、自転車小売専門店の平均価格は上昇し依然として高額である。一方、スーパーマーケットなどの量販店の平均価格は更に下がり、その差はますます広がっている。

特にロードレーサーは車種別の売上台数シェアはわずか5%だが、表3のとおり平均販売価格は1,113ユーロと昨年より更に11ユーロも高くなった。MBK、LOOK、TIMEなどの自国高級スポーツ車の他、Trek、Giant、Specialized、Pinarello等、他国の有名ブランドの車種を取り扱う自転車小売専門店の健闘振りが上記の数値からも見て取れる。

しかし、部品・付属品の販売金額では、同じ自転車小売専門店でも独立系店舗が前年比で3%減となったのに対し、FC系店舗は同比12.3%増と大幅な伸びを見せており、総じてFC系の数値の上げ幅は独立系より大きく、これからは自転車小売専門店でも独立系とFC系の店舗間において差が生じてくる可能性もある。

また、電動自転車については、2006年は販売台数6,000台となり、前年の3,900台から前年比53%も販売数を増やす結果となり、新たな付加価値の高い車種として前述のトレッキング車とともに、今後の成長に期待が持たれている。

—統計出所：FEIV/CNPC—

以 上

デュッセルドルフ事務所